

## 平成 30 年版 治山林道必携（調査・測量・設計編）の訂正について（ご案内）

お客様の皆様におかれましては、当協会発行書籍をご利用頂きありがとうございます。  
過日発行いたしました平成 30 年版 治山林道必携（調査・測量・設計編）について訂正を要する事項が判明いたしましたので、ご案内申し上げます。

平成 30 年版 治山林道必携（調査・測量・設計編）の正誤の対象となるページと訂正内容を表示します。

### 1 114 ページ

4-8 成果

4-8-1 報告書作成

1 略

2 代価表

報告書作成費（直接経費）

名称の誤りを訂正するものです。

（誤）

（一式当たり）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
地質調査技師		人		作業能力算定による。
主地質調査員		〃		
地質調査員		〃		



（正）

（一式当たり）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
地質調査技師		人		作業能力算定による。
主任地質調査員		〃		
地質調査員		〃		

### 2 117 ページ

4-9 運搬

1 略

2 略

3 試料運搬

誤字を訂正するものです。

（誤）

(1) 交通車運転日数(D)は、以下による。  
 $D = \text{運搬 1 回当たりの運転目数} \times \text{運搬回数}$



（正）

(1) 交通車運転日数(D)は、以下による。

D=運搬 1 回当たりの運転日数×運搬回数

表の見出しの誤字を訂正するものです。

(誤)

① 運搬 1 回当たりの運転日数及び労務員数



(正)

① 運搬 1 回当たりの運転日数及び労務員数

計算内訳の誤字を訂正するものです。

(誤)

(2) 運搬労務は地質調査技師とする。

地質調査技師数=交通車運転日数×労務員数



(正)

(2) 運搬労務は地質調査技師とする。

地質調査技師数=交通車運転日数×労務員数

### 3 245 ページ

#### 7-9-3 測線測量の補正

29 年版で訂正案内した記述内容の反映が漏れていました。

(誤)

標準歩掛の補正は、測線長及び地形に応じ表 7-9-1「測線長による補正」、表 7-9-2「地形による補正」を適用し、補正方法は次式による。

積算歩掛=標準歩掛×(1+補正值の和)



(正)

標準歩掛の補正は、測線長及び地形に応じ表 7-9-1「測線長による補正」、表 7-9-2「地形による補正」の補正率を乗じて補正する。

2-1-2 治山ダム工実施設計

表の区分欄の表記の一部を訂正するものです。

(誤)

区分 \ 職種		略	略	略	略	略	略	略	略
設計計画		略	略	略	略	略	略	略	略
基本事項検討		略	略	略	略	略	略	略	略
治山ダム工	治山ダム工(透過型)※1	略	略	略	略	略	略	略	略
	治山ダム工(不透過型)※1	略	略	略	略	略	略	略	略
	副ダム工	略	略	略	略	略	略	略	略
	水叩き工	略	略	略	略	略	略	略	略
	側壁護岸工	略	略	略	略	略	略	略	略
	床固工	略	略	略	略	略	略	略	略
	流末処理設計	略	略	略	略	略	略	略	略
	基礎工設計	略	略	略	略	略	略	略	略
景観設計		略	略	略	略	略	略	略	略
施工計画		略	略	略	略	略	略	略	略
以下略									



(正)

区分 \ 職種		略	略	略	略	略	略	略	略
設計計画		略	略	略	略	略	略	略	略
基本事項検討		略	略	略	略	略	略	略	略
施設設計	治山ダム工(透過型)※1	略	略	略	略	略	略	略	略
	治山ダム工(不透過型)※1	略	略	略	略	略	略	略	略
	副ダム工	略	略	略	略	略	略	略	略
	水叩き工	略	略	略	略	略	略	略	略
	側壁護岸工	略	略	略	略	略	略	略	略
	床固工	略	略	略	略	略	略	略	略
	流末処理設計	略	略	略	略	略	略	略	略
	基礎工設計	略	略	略	略	略	略	略	略
景観設計		略	略	略	略	略	略	略	略
施工計画		略	略	略	略	略	略	略	略
以下略									

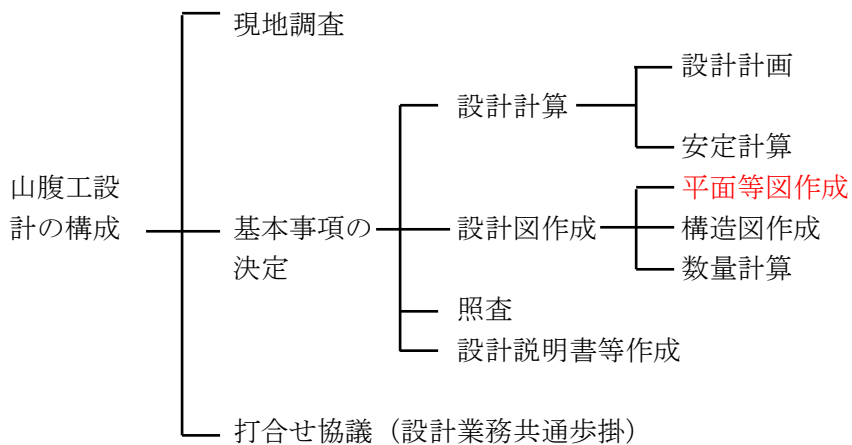
5 352 ページ

第3 山腹工設計

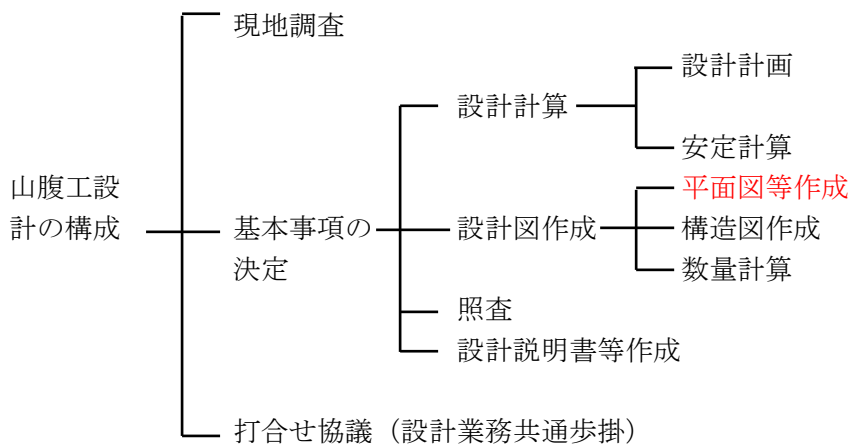
3-1 山腹工設計歩掛の構成

フローチャート中の誤字を訂正するものです。

(誤)



(正)



5 390 ページ

6-1-2 逆T式擁壁、重力式擁壁実施設計

1 略

2 略

3 個所数

(1) 標準設計を使用しない場合

表中の備考欄の誤字を訂正するものです。

(誤)

条件		箇所数	備考
① 略		略	略
② 略	擁壁本体の 高低差による 箇所数	略	・ n1 及び n2 の箇所数に端数がでる場合は、 <b>少数点</b> 以下 1 位を四捨五入する。 ・ 個所数は、n1 及び n2 のうち大きい値を用いて下式により算定する。  $n = 1 + (n1 \text{ or } n2) - 1) \times 0.7$ ※n は小数点以下 1 位止めとする。
	延長による 個所数	略	



(正)

条件		箇所数	備考
① 略		略	略
② 略	擁壁本体の 高低差による 箇所数	略	・ n1 及び n2 の箇所数に端数がでる場合は、 <b>少数点</b> 以下 1 位を四捨五入する。 ・ 個所数は、n1 及び n2 のうち大きい値を用いて下式により算定する。  $n = 1 + (n1 \text{ or } n2) - 1) \times 0.7$ ※n は小数点以下 1 位止めとする。
	延長による 個所数	略	

6 481 ページ

1-4-11 標準歩係の補正

見出しの誤字を訂正するものです。

(誤)

1-4-11 標準**歩係**の補正



(正)

1-4-11 標準**歩掛**の補正

以上